てこれからも南相馬の人 い情報を伝えて ハたちを支えてい
 きた ****

4

0

精神的サポー 拭することにも惜しみない尽力をし続けてきた。そんな番場さんの、 番場さち子さんは、 トをしようと「ベテランママの会」を立ち上げた。放射性物質に関する風評被害や偏見を払 東日本大震災後、 福島県南相馬市で不安を抱える若い母親や子ども、高齢者たちの 震災後の歳月について話を聞いた。

白井美樹(ライター)

はどんな状況だったのでしょう。 塾を経営されていたそうですが、 番場さんは、震災前から南相馬市で学習 被災当日

然大地が大きく揺れ動いたのです。崩壊し 古い家屋を借りて営んでいた塾に戻りまし 卒業式があったので、それに出席したあと、 高校生も含め、114名の生徒が在籍して て下敷きになったら困ると思い、とっさに た。その日の授業のために英単語をコピー しようと、コピー機の前に立ったとき、突 いました。震災当日は、午前中に中学校の 塾には中学生をメインに、小学生や

> に生徒がゼロになったのです。 スリッパのまま外へ飛び出しました。 当然ながら、授業は中止。 3月11日を境

外に飛び出してから、どうされましたか。

に曲がって行ったのです。 津波の航空映像を見せてくれましたが、 もしれません。あとになってから、友人が たら、津波に飲み込まれ、命がなかったか と、車を走らせました。普段なら直進して いた道路を、なぜかその日は、たまたま右 とりあえず家の様子を見にいこう もし直進してい

> とが分かり、 のすごく近いところまで津波が来ていたこ ぞっとしましたね。

震災後、避難はされたのですか。

番場 血病を患っていたので(今は完治して元気 難していきました。わが家も当時、父が白 指示でした。家も屋根が壊れたくらいだっ 避難指示が出ましたが、 たので、住めないこともありませんでした 町地区は30キロメートル圏内で、屋内退避 周囲の人たちはみんな不安を覚え、避 福島原発から20キロメー 私が住んでいた原 トル圏内は

着のみ着のままでした。 県の人は防護服を着ているのに、私たちは を洗わされたりしました。そんなときも、

何で検査を受けないといけないの」と市の

「低いところから高いところに帰るのに、

人に聞くと、毎回「決まりですから」とい

う答えだったのです。

に両親とともに避難したのです。

―避難生活はどんな感じでしたか

70キロメートルほど離れた伊達市の体育館いっぱいです)、震災があって4日後に、

は、南相馬よりも伊達のほうが、 提出しないと入れませんでした。でも、実 ニング検査を受けて、異常なしという紙を りました。伊達市に帰るときには、スクリー 何人かいて、何回か遺体確認に南相馬に戻 いことが分かっていたのです また、私は、津波の被害にあった親戚が 線量が高

いきなり服を脱がされ、外の冷たい水で髪 おばあさんは、髪が線量計に反応したため、

原発から近い浪江町から避難してきた

理不尽なことがたくさんありました

たのでしょうね。 避難所には悲痛な体験をした方も多かっ

そうです。 て坂をのぼれず、 ばあさんと車2台で逃げたところ、おばあ 殺したんだ」と声をしぼりだしました。お の?」と尋ねると、「オレがバアちゃんを でいるおじいさんがいたので、「どうした さんが運転していた軽自動車は馬力がなく がたくさんいましたね。一人でふさぎこん 津波から奇跡的に助かったという人 津波にのみこまれたのだ

そのほかにも、 助けたかった人を、 助け

1961年福島県原町市(現南 相馬市) に生まれる。東京の 大学に学び、書道教室を皮切 りに、30年間、教育に関わ る。教育アドバイザー。発達 障害支援員。南相馬市での活 動のほか、東京・駒場東大に 福島からの避難者の相談窓口 兼たまり場「番來舎」も運営 していた。「日本復興の光対 象15」にも選ばれている。

●ばんば・さちこ●

51 地域保健 2018.3 写真: カミヤス セイ

さん

◉一般社団法人ベテランママの会代表理事

ランママの会」の設立につながったのです。 ろいろな人の話を聴く、傾聴ボランンティ ました。いつしか、私はその避難所で、 られなかったつらい体験をした人が大勢い を始めていました。それがやがて 「ベテ

南相馬市に戻ったのはいつでしたか

たわけではありませんでした。 はり、原発に近いという点で、不安がなか 学習会をやろうと思ったのです。でも、 どもたちが戻っていることを知り、 3月の末です。 わずかだけれど、 無料の p つ

に落ちて、帰って住民のために働く決心が 聞いたことがないでしょう」と教えてくれ になったり、 性物質には内部被ばくと外部被ばくがあっ たのです。 被ばくしているのよ。だけど、それでがん ンアテンダントは、福島よりももっと多く て、外部被ばくについていえば、大気の薄 そんなとき、東京に住んでいた娘から電 上空で仕事しているパイロットやキャビ たのです。 私としては、この話がとても腑 そのことを相談すると、「放射 白血病になったりなんて話

ってからどんなことをされたのです

で 取ることができなくなりました。 と、多くの住民たちの悩みが私のところに 高校の同窓生たちに呼びかけて、当初5人 届くようになり、一人だけではすべて聞き つくってあげようと塾を再開するととも がたっていなかったので、子どもの場所を 「ベテランママの会」を作ったのです。 傾聴ボランティアを続けました。する まだそのときには、 学校再開の そこで、 目途

南相馬市の 市街地の空間線量は 西日本と変わりありません をともまま物がは対象を使わったた。 をともまま物がは対象を使わったが、 をでの際がほこったことは呼ってすが、 のは多いになっています。。

福島県南相馬発 坪倉正治先生の よくわかる 放射線教室

会を設立して、どんな活動を?

ました。 不安の声がこれでもかというほど届けらればくしたのでしょうか?」など、健康への 談が殺到しました。「ここに住んでいてい 多かったですね。特に、被ばくに関する相 いの?」「洗濯物を外に干して大丈夫?」「3 12日の日に娘が雪で遊んでしまったが被 最初のうちは、 やはり傾聴の仕事が

に関する相談が増えてきました。 して生活する人たちから、 そのうち、 元塾生をはじめ、県外に避難 風評被害や偏見

すね。 - 風評被害や偏見は相当深刻だったようで

番場 ていたなんてことも聞きました。 ひどい話では避難先の玄関に汚物が置かれ うつされる」などと、ばい菌扱いされたり、 「福島の人が出入りすると放射能を

と都心の喫茶店で話をしていると、 うにしましたが、あるとき元塾生の大学生 「放射能」というワードが出ると、 たびたび私は東京に出向いて話を聴くよ 隣席の 「福島」

客が体を遠ざけたり、 えたりすることもありました。 あからさまに席を変

証を見て、逃げるように事務室へ引っ込ん とそのとき思いましたね。 す。「みんなが受けている偏見は、これか!」 通されて診察され、裏口から返されたので でいきました。そして、待っている患者さ 県南相馬市」と住所が書いてある私の保険 んがたくさんいたのに、私はすぐに別室に クを受診したところ、受付の女性が 私自身、 体調を崩して、都内のクリニッ 「福島

マの会ではどんな活動をされたのでしょ そうした偏見をなくすためにベテランマ

まで、 に対する正しい知識を持ってもらわないと 勉強会を繰り返し行いました。 協力をあおぎ、 究所から南相馬に来ていた坪倉正治医師に 23) 年の12月ごろから、東京大学医科学研 いけないと思いました。 勉強会は100回以上を数えていま 少しでも多くの人に、早急に放射能 放射能に関する少人数制の 2 0 1 1 現在に至る (平成

小冊子作りもしまし た。 『福島県

> 訴えました。 度に放射能を危険視する必要がないことを 版を1万冊発行したのです。その中で、過 線教室』という冊子を日本で5万冊、 坪倉正治先生のよくわかる放射 英語

勉強会や冊子の成果はありましたか

もしましたね。1日中、クレーム対応といにだまされているのか」などと叩かれたり う日もありました。 ど「東電から金をもらっているのか」「国 したが、こうしたことを世の中に広めるほ番場 話を聞いて安心したという人もいま

続ける大きな力になりました 長の鎌田實先生にお見せしたときに、 いけないよ」と励ましてくださり、 く言う。その声は大きいから惑わされては んないいことをしても、 でも、 初版の冊子を諏訪中央病院名誉院 絶対1割の人は悪 活動を ど

をされたいです 今後はベテランママの会ではどんな活動

のが気になっています。 南相馬では自殺者が多くなっている みんな疲れて緊張

> を開いたり、 が楽しくないといけないので、 続して心のケアが必要ですね。 行ったりしています。 いことに巻き込んでいこうと思っていま れるような感じになるのです。 しているので、あるときゴムがプチッと切 すでに、親子食堂や女子力アップ講座 さまざまなサロン活動などを そして、 なので、 住民を楽し 町

高齢者も多いので、自分の体は自分で守れ 性物質が怖くて、あまり外に出なかったた る知識をつけてほしいです。 め、体力が落ちて、メタボも増えています ぶ会も開く予定です。これまで住民は放射 ダイエット講座や、正しい運動や栄養を学 それから、市立病院の先生の協力のもと、

とはありますか。 最後に、保健師さんになにか言いたいこ

れません。 私たちは、『放射線知識基礎テスト』とい 正しい知識を持っていただきたいですね るので、利用していただくのもいい うものも作り、 ることも多いと思うので、放射線に対する 保健師さんは、 全国に広めたいと思ってい 住民から相談を受け かもし

2012

『福島県南相馬発 坪倉正治先生のよく

2013

2011

わかる放射線教室』